

2024年原水爆禁止国民平和大行進実施要綱

2024年3月8日 行進事務局

ビキニ水爆被災70年から広島・長崎被爆80年へ

核兵器のない世界、非核平和の日本の実現をめざして、ともに歩こう

ウクライナやガザで侵略と住民虐殺の戦争がやまず、核兵器での脅しや増強・「近代化」が続く一方で、核兵器禁止条約の存在感が増し、世界各地でストップ戦争、国連憲章守れ、核兵器なくせの声が大きく広がっています。

核兵器禁止条約の批准国はこの3年で70、署名国は93か国となり、世界の過半数に達しようとしています。いま、核兵器のない世界のための努力がさらに大きく求められています。

1954年3月、中部太平洋ビキニ環礁でのアメリカの水爆実験を機に、日本全国で原水爆禁止を求める行動が大きくひろがってから、ことしで70年になります。あのビキニ被災でのたたかいで、日本の国民は有権者の過半数3200万筆の署名を集め、原水爆禁止運動を創り出しました。署名が世界を動かし、核兵器使用の手を抑え、その力が核兵器禁止条約を生み出しました。

その教訓を今に生かし、私たちはことし、「ビキニ水爆被災70年から広島・長崎被爆80年へ — 核兵器のない世界、非核平和の日本の実現」をめざして、8月6日、広島、8月9日、長崎の原水爆禁止2024年世界大会に向かって歩きます。

行進は、ストップ戦争、核兵器の廃絶を全世界に呼びかけながら、全国で広島・長崎の被爆者やビキニ事件被害者のみなさんと協力し、日本の核兵器禁止条約参加とそのための署名を訴えながら歩きます。

能登地震で被災されているみなさんに心を寄せ、軍拡ではなく被災地支援・復興のためにこそお金は使われるべきです。地震大国に原発はいらない！とよびかけます。

ウクライナやガザの事態が示すように、核兵器への依存や大軍拡は、戦争を「抑止」するのではなく、逆に助長し、国民の暮らしを「安全」にするのではなく、戦争の危険に陥れます。日本は、世界でただ一つの戦争被爆国として、この危険を止め、核兵器禁止条約に参加し、アジアと世界の平和、国民の安全のためにこそ努力すべきです。

そのために2024年国民平和大行進は、全国すべての市区町村で、職場、地域、学園で協力を広げ、被爆者の証言を聞き、原爆展の開催や被爆の実相を伝え、署名を集め、広島、長崎をめざします。原水爆の禁止を求めて誰もが立ち上がった、あの「ビキニのたたかいのように」が、ことしの行進の合言葉です。

1、日程・コース

①被爆地広島、長崎をめざす行動として、全国 11 幹線コースで実施します。

5月6日北海道→東京（4コース終結）、5月6日東京→広島、5月7日和歌山→広島、6月5日富山→広島、5月5日徳島→広島、6月17日宮崎→広島、6月17日沖縄→広島、6月29日長崎→広島で実施し、8月4日広島（終結）となります。

②すべての自治体を網羅する網の目の平和行進と行動にとりくみます。

2、主 催

提唱＝原水爆禁止世界大会実行委員会

主催＝2024年原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会

3、名 称：2024年原水爆禁止国民平和行進

1、 共通スローガン

➤ 緊急の反戦スローガン

- ・ ウクライナの侵略戦争反対！ 戦闘をやめて ロシアはただちに撤退を
- ・ ガザでのジェノサイドストップ！ ただちに停戦を
- ・ アメリカは、停戦を妨害するな！ 虐殺に加担するな！

➤ 核兵器のない平和な世界をつくろう

- ・ 核兵器禁止条約に参加しよう！ すべての国に参加をよびかけよう
- ・ 核保有国に、「核軍備の完全廃絶」の約束を実行させよう
- ・ 核保有国は、核兵器使用の威嚇をただちにやめよ。核兵器の増強・近代化、核・ミサイル発射実験いまずぐ中止を

➤ 日本の禁止条約参加・「核の傘」からの離脱、ストップ戦争準備・大軍拡

- ・ 日本は核兵器禁止条約に参加を！
- ・ ストップ・アメリカ言いなり・大軍拡！ 43兆円の軍拡やめて、お金は国民の暮らしに
- ・ 沖縄・辺野古の米軍基地の建設をやめさせよう！ 南西諸島のミサイル配備やめさせよう！

➤ 被爆者・ビキニ被災者支援・連帯

- ・ 広島・長崎の被爆者を支援しよう！ 国家補償による被爆者援護を！
- ・ 原爆放射能被害にあったすべての被爆者の援護を！ 「黒い雨」被災者に被爆者健康手帳の交付を！
- ・ 政府は、ビキニ水爆実験被災者の実態調査、謝罪と補償を直ちに開始を！

➤ 人権、暮らし、環境運動との連帯

- ・ ジェンダー平等、格差のない社会へ力をあわせよう
- ・ いまこそ原発ゼロの決断！ 再生可能エネルギーへの転換を！
- ・ 福島原発事故被害者へ補償を！ アルプス汚染処理水の海洋放出はいますぐ中止を！
- ・ 能登地震の被災者への支援、復興を！

➤ 運動スローガン

- ・ 被爆者のねがいとともに、核兵器のない世界、非核平和の日本の実現をめざして立ち上がろう！ **「非核日本キャンペーン」にとりくもう！**
- ・ 原水爆禁止2024年世界大会へ 広島、長崎をめざして歩こう！
- ・ ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー

4、具体的なとりくみ

①「非核日本キャンペーン」と連動した行進に

ことしの平和行進の出発から終結までの約3カ月の間に、広島、長崎、ビキニ被災の実相を知らせ、核兵器廃絶と日本の禁止条約参加を促進する全国キャンペーンにとりくみましょう。

被爆80年の8月めざし、全自治体で核兵器禁止条約への日本の参加を求める署名を一層ひろげましょう。原爆パネルや広島の高校生が描いた原爆の絵、「ビキニ被災パネル」（準備中）の展示、被爆者との交流、被爆体験の聞き取り、地域での戦争・平和展などあらゆるとりくみを青年、学生、高校生、若い世代の平和活動を軸にすえて、ひろげましょう。

※キャンペーンのとりくみは別紙の報告用紙で随時事務局へ報告してください。

②地域が主人公！ 平和のために発揮してきた人を県内通し行進者にむかえよう

全国通し行進者の果す役割を中心にすえながら、県内通し行進者、県内リレー行進者も同時に重視しましょう。

組織強化として、昨年につづき県内通し行進者を配置した県の実行委員会に対し、組織支援金として1日あたり3,000円×日数を支給します。地域住民にアピール、共感を呼ぶような行進、スタンディング、宣伝カーの運行の効果的な方法、SNSの積極的な活用など、知恵と工夫を出し合い、行進参加を呼びかけるチームを組織しましょう。

※別紙、申請書を設けます。

③地域の青年、学生、高校生など若い世代のとりくみをいっそう重視・支援しよう

全国的なとりくみとして、いま「非核日本キャンペーン」を成功させることは、平和をねがう次世代にとっても重要です。この運動をすすめるための特別支援を設けます。青年、学生、高校生の行進・呼応したとりくみを支援します。（若者世代活動特別支援費 ※5、財政を参照）県実行委員会を**窓口**にし、青年自身が計画できるようサポートしましょう。世界の反核運動とつながれるよう、日本原水協事務局もフォローします。オンライン「今週の平

和行進」を活用します。

④自治体との共同から市民へ、非核平和の思いをいっそうひろげよう

「原爆と人間」パネル（日本被団協）や広島・長崎被爆展示組写真（日本原水協）の展示や広島の「高校生が描いた原爆の絵」展など、全自治体での開催を働きかけましょう。

非核平和の行政を平和行政施策の推進のため

「非核日本キャンペーン」をひろく市民に知らせるために、自治体、教育委員会等との共催、後援を得るなどの工夫をしましょう。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」への役職者賛同署名をすすめてみましょう。自治体職員と市民に署名を呼びかけるよう、要請しましょう。

議会に「核兵器禁止条約への署名（参加）・批准を日本政府に求める意見書」決議をもれなく要請し、全自治体での採択をめざしましょう。

原水爆禁止 2024 年世界大会の成功のために、平和行進の出発・集結集会で連帯のあいさつ、一歩でも二歩でも行進に参加を働きかけましょう。学習パンフの贈呈、「折り鶴」ペナントへの協力（賛助金）を求めましょう。

⑤全国通し行進者の募集と国際青年リレー行進者の配置について

ことしも全国の幹線コースにおいて、全国通し行進者の募集をおこないます。ただし、コロナ禍以降、都道府県実行委員会の行進スタイルが変化しています。都道府県実行委員会との相談の上すすめます。コロナ感染等、通し行進が難しい場合でも県から県への横断幕の引き継ぎはおこなうものとします。

国際青年リレー行進については、希望に応じて都道府県実行委員会との相談の上、基本的に日本原水協が受け入れ、各県と体制を調整します。※全国通し行進者の募集は別途、定めます。

⑥行進ペナントのあつかいについて

・ことしも広島平和記念公園に奉納される折り鶴を再生した「折り鶴」ペナントを作成します。このペナントは、「核兵器のない世界、非核平和の日本の実現を求める」平和のねがいを託し、平和行進が集結する被爆地広島へ結集します。1人でも多くの方に賛同を呼びかけてください。

・各団体は各都道府県実行委員会の指示に従うようお願いします。中央実行委員会のみなさんも普及にご協力ください。団体旗・のぼりに結ぶ場合は、ポール、旗、のぼりとともに収納する手提げ袋に入れるなどし、各団体で管理するようお願いします。

⑦中央団体リレー旗のあつかいについて

・団体リレー旗の管理については、基本的に「人から人につなぐ」ことを前提にします。リレーが可能な地域では、各実行委員会とご相談ください。また、リレーできるところも、引継ぎが困難な場合には宣伝カーに乗せたままにせず、持ち帰るようご協力をお願いします。

郵送などは各団体の管理のもとでおこなってください。

・沿道の方が共感できる行進をめざします。メッセージが書いてある団体リレー旗、旗やタペストリーなどをご持参ください。平和行進資材もご活用ください。

※中央団体リレー旗の確認をします。

⑧行進参加者の健康と安全を第一に

・参加者のケガや事故、熱中症など、懸念されている不安を解消するため、保険への加入をお勧めします。すでに活用している県の実行委員会からの詳細情報を共有します。

・体調不良、感染症の対応について

指定感染症等発生した場合は、感染症毎に行政機関の発行するガイドラインを基に、県実行委員会との協議の上、参加者の対応を行いましょ。すこしでも体調が悪い方は無理せず参加を見合わせましょ。

・気象条件や交通事情を鑑み、行進コース・行進時間帯の見直しなども検討ましょ。天気予報で警報が発令された場合は、すみやかに行進を中断、中止することをはじめ、注意報の段階でも参加者の安全を第一に考えて、各都道府県実行委員会の責任で判断をお願いします。

⑨原水爆禁止2024年世界大会成功のために

・3月1日からスタートした「非核日本キャンペーン」(「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める」署名、被爆の実相普及、被爆者との交流・聞き取りなど)を全自治体でとりくみ、世界大会に運動の成果を持ち寄ましょ。

・原水爆禁止国民平和大行進、原水爆禁止世界大会を成功させる募金としても「折り鶴再生ペナント」を普及してください。

・原水爆禁止2024年世界大会に集まらましょ。

5、財 政

① 中央実行委員会の財政は、基本的に中央団体の参加分担金、協力金、都道府県実行委員会の協力金および事業活動などで運営ましょ。

② 都道府県実行委員会、市区町村実行委員会の財政は、基本的に参加団体の分担金、協力金、自治体募金、沿道募金、事業活動などで運営ましょ。

③ 県内通し行進者を配置した県に対して、行進人数にかかわらず、1日あたり3000円を都道府県実行委員会組織支援費として負担ましょ。※申請書を別途、設けます。

④ 全国通し行進者を受け入れた都道府県実行委員会に対して、通し行進者1人につき一律で1日12,000円(本人負担5,000円と中央実行委員会より補助7,000円を合算※2024年度より2,000円上乘せ)を負担ましょ。※通し行進者受け入れについての要請を別途、定めます。

⑤ 「若者世代活動特別支援費」を新たに設けます。2024年の全国の日程を加味し、行進出発から終結までの期間において、平和行進でもよびかける「非核日本キャンペーン」に呼応

した若者世代主体の運動を支援します。基準として 1) 主催者に若者（高校生～30代までをめぐりに）が加わる。2) 全国の行進期間中に行われる。3) 一つの県につき上限を 15,000 円とする。としてとりくみます。※申請書を別途、設けます。

6、行進実行委員会の機構

実行委員会の機構として、①総会、②代表委員、③事務局団体、④会計監査団体を設けます。全国的な経験交流を目的として、年内に総括会議を、総会と結んで都道府県代表者会議を開催します。※別途、定めます。

以上